

まちづくり委員会 基本方針

まちづくり委員会 委員長 深川 強

佐賀市は、都市の暮らしやすさランキングで一位にもなった魅力的な町ですが、その一方で佐賀県民の地元愛は決して高いとは言えず、また将来の地域の中心となっていく子どもたちがそれを体感しながら学べるような環境は十分とは言えない状況となっています。子どもたちが早い段階から学びを通じて地域の魅力を体感し、郷土愛を育める環境が必要です。

まずは、ここ3年間の行事が中止、縮小などで十分な活動が出来なかった子どもたちが佐賀の大切な思い出を作り、地域への愛着を深めてもらうために、第52回佐賀城下栄の国まつりで市民参加型の花火大会を行うことで、夏の風物詩としてのまつりを子どもたちをはじめとする多くの人びとの心に一層定着させます。そして、これからの地域を担う子どもたちの教育の在り方について佐賀青年会議所メンバーが深く理解するために、児童の社会教育に携わる専門家や、実際に地域で事業を展開されている方をお招きしての学びの場を設けることで、佐賀青年会議所メンバーが事業を通じて地域愛と社会教育の場を提供していくという機運を高めます。さらに、子どもたちが住み暮らす地域の魅力に気づき、将来のまちづくりを主導的に担うという意識を醸成するために、佐賀の地で子ども屋台選手権を開催し、子どもたちが社会性を身に着けると同時に、佐賀への郷土愛を深められるようにします。また、第74回全国大会佐賀大会を通じて、佐賀の魅力を多くの人に認識してもらうために、行政を始めとする関係団体との協力体制の確立並びに地域の現状や課題の調査、ひいては解決に向けた活動を行うことで、2025年に向けての盤石な体制を構築します。

一般社団法人佐賀青年会議所が他団体と連携しながら、より魅力的な地域づくりを主導し、「獅子搏兎」のように決してあきらめることなく妥協せず、何事にも全力な気持ちを胸に、明るい未来を目指します。

[事業計画]

1. 子ども屋台選手権の企画・運営
2. 佐賀城下栄の国まつりへの参画(8月)
3. 例会の企画・運営(7月、11月)
4. まちづくり運動の実施
5. 京都会議 参加者への支援(1月)
6. 厄入厄晴の企画・運営(2月)
7. 全国大会 参加者への支援(10月)
8. 全国大会に向けての取り組み(運輸情報(タクシー、レンタカー、飛行機、鉄道)担当)
9. 会員拡大 拡大目標 委員会6名(全体30名)